

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

モットー

食を通して幸せになっていただく、食を通して笑顔を作り出す

EBITDA
1,153百万円

② 中長期の経営戦略

1. 人材確保・育成強化

焼肉・寿司・海鮮居酒屋の調理能力育成、特定技能制度活用、配膳ロボットやタッチパネル導入で就労環境改善

3. QSC向上と生産性強化

マニュアル・研修強化、メニュー定期変更、アプリ・配膳ロボット・キャッシュレス化で顧客体験向上

2. 店舗数拡大

国内はM&Aで業態増強、海外はFC方式で手のひら食パン・平禄寿司をアジア・米国など新規エリアに出店

4. 調達リスク管理

複数社・複数産地からの購買、原産地変更や供給先変更で価格高騰・供給不安に対応

③ 対処すべき課題

① 人材不足への対応

- ・専門性の高い調理能力を持つ人材の育成が必須
- ・特定技能制度で外国人人材確保、店舗管理者育成に注力
- ・ES向上・有給休暇推進で定着率向上

② 経営環境の不透明性

- ・ウクライナ・中東情勢による原材料・エネルギー価格高騰継続
- ・円安による物価高騰の継続
- ・アメリカ政策動向の影響に注視

③ 成長と収益基盤強化

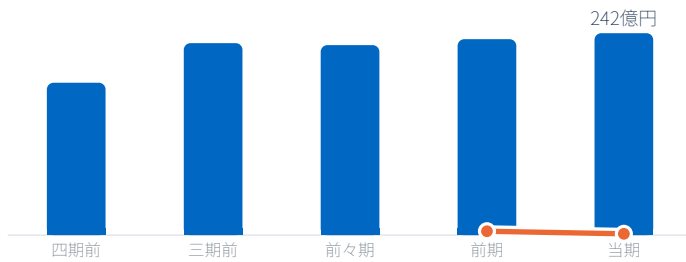
- ・国内はM&A活用で既存業態ジャンル増加、展開エリア拡大
- ・海外はFC方式でアジア圏・新規エリアに拡張

面接で使えるポイント

- ・焼肉・寿司・海鮮居酒屋など複数業態で『食を通して笑顔を作り出す』というモットーを実践
- ・2026年3月期のEBITDA1,153百万円達成に向け、人材育成と生産性向上を同時推進
- ・特定技能制度や配膳ロボット導入で、人手不足と就労環境の課題に先制的に対応

証券コード 2694

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
名古屋市に本社を置く上場小売企業

主力事業・セグメント

- ・小売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
242億円営業利益率
0.6%財務健康度
22点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 35.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
414万円

小売業内 291位/318社

平均年齢
40.4歳

小売業内 193位/318社

平均勤続
10.3年

小売業内 171位/318社

女性管理職
6.6%

小売業内 184位/250社

男性育休
45.5%

小売業内 145位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)焼肉坂井ホールディングス【2694】：決算情報

